

解答プリント「中学社会・地理的分野」

■補充プリント

単元:4 北アメリカ州／南アメリカ州

【評価の観点】 ㊦：思考・判断・表現 ㊧：技能 ㊨：知識・理解

解答例	解説
<p>㊦ ① アメリカ合衆国</p> <p>㊦ ② ブラジル</p> <p>㊦ ③ アルゼンチン</p> <p>㊦ ④ カナダ</p>	<p>㊦ ① アメリカ合衆国で大豆は、とうもろこし地帯、綿花地帯などで多く栽培されている。</p> <p>② ブラジルでのとうもろこし栽培はブラジル高原を中心に行われ、夏季と冬季に二度栽培する二期作が行われている。</p> <p>③ アルゼンチンでは湿潤パンパで大豆、とうもろこしなどの栽培が大規模に行われている。</p> <p>④ カナダでは、グレートプレーンズ北部で春に種をまき、秋に収穫する春小麦が大規模に栽培されている。日本はカナダから大量の小麦を輸入している。</p>
<p>㊦ (1) アパラチア山脈</p> <p>㊦ (2) 中央平原</p> <p>㊦ (3) ミシシッピ川</p> <p>㊦ (4) チリ</p> <p>㊦ (5) アルゼンチン</p>	<p>㊦ (1) アパラチア山脈は古い時代にできたなだらかな山脈で、石炭などの鉱産資源が豊富である。ふもとに位置するピッツバーグでは石炭を利用した鉄鋼業が発達した。</p> <p>(2) 中央平原では小麦、とうもろこし、乳製品などの生産がさかんである。</p> <p>(3) ミシシッピ川は北アメリカ最長の河川で、水上交通路としても重要な役割を果たしている。河口には港湾都市として発達したニューオーリンズがある。</p> <p>(4) チリは、南北の長さは約 4630 kmあるのに対し、東西の幅は平均 175 kmしかない。</p> <p>(5) ラプラタ川流域に肥沃なパンパとよばれる草原が広がっている。</p>
<p>㊨ (1) ネイティブアメリカン</p> <p>㊨ (2) 適地適作</p> <p>㊨ (3) 多国籍企業</p> <p>㊨ (4) サンベルト</p> <p>㊨ (5) 先端技術〔ハイテク〕産業</p> <p>㊨ (6) 焼畑農業</p>	<p>㊦ (1) ネイティブアメリカンの人々は、ヨーロッパ人の移住者が増えるに従い、生活する場所が制限されていった。</p> <p>(2) 自然環境だけでなく、社会的な条件により栽培される作物が選択されている。</p> <p>(3) 石油会社、自動車会社などで大規模な多国籍企業が見られる。</p> <p>(4) 安い地価、豊富な低賃金の労働力などを背景として工業地帯が形成された。</p> <p>(5) 先端技術産業には、産業用ロボット、遺伝子組み換えなどもふくまれる。</p> <p>(6) 焼畑農業は、かつては日本の山間部でも行われていた。</p>